

2022. 6. 1

子どもたちは園生活に慣れ、ままごと玩具を机に運んで食べる真似を楽しんだり、ソフトブロックを積み重ねて高くしたりとそれぞれに興味のあるものを見つけて遊ぶ姿が増えてきました。これから子どもたちの様子を伝え合い、共に成長の喜びを感じていけたらと思います。

梅雨時期でも体を動かして遊ぶと汗ばむ姿があるので、水分補給や休息を取りながら元気に過ごしていきたいと思います。



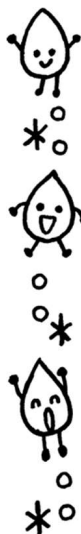
《子どものようす》

ひよこぐみ(0歳児)

1歳になったお友だちは完了食に移行し、好きなものを手づかみしながら喜んで食べています。9か月のお友だちは離乳食の中期食の大きさ、固さの食べものを、“あ〜ん、パクッ”と口に含んで意欲的に食べています。2人とも食べるのが大好きで、お腹が満たされるとご機嫌です！

いすぐみ(1歳児)

保育者や友だちに関心を持ち、玩具を持ってきて差し出し、やりとりを喜ぶ場面が見られるようになってきました。また、食べることが好きな子どもたちも多く見られ、手づかみやスプーンを使いながら自分のペースで食べ進めています。園庭では砂に触れてサラサラとした感触を味わったり、カップやバケツに砂を入れたりと気になるものを使って遊ぶ姿も見られます。



うさぎぐみ(2歳児)

ミニ図鑑に載っている虫や草花、生き物などに興味を持ち、保育者に名前を尋ねる姿や、友だち同士で一緒に見て楽しんでいる場面があります。園庭でも虫探しを楽しんだり、草花を見つけると取って来て見せてくれたり、「かわいいね」と言葉で伝える姿がありました。また、アリやてんとう虫、小さな幼虫を見つけると動く様子に釘付けになって見えています。

心地良い気候の中、保育者がしゃぼん玉遊びを始めると、沢山のしゃぼんがフワフワと浮かんだり、風に乗って動いたりする様子を見て、「わあ〜！」と歓声を上げて喜ぶ子どもたちでした。手を伸ばして触ろうとしたり、追いかけて捕まえようとしていたりする姿があり、触ると消えてしまう不思議さを味わいながら遊ぶ様子が微笑ましかったです。



- 梅雨に入ると室内遊びが増えてきますので、粘土やお絵描きなど、手先を使って遊びたいと思います。
- 天候の良い日には戸外へ出かけ、身近な生き物を見つけたり、草花に触れたりして遊びたいと思います。